

帝キネ声屋現代映畫

紹介 第一百拾號

先づ評する前に製作者に此映畫を製作した理由を訊さなければなるまい。樂屋洛ちか幻想劇か見者その判断に苦しむ、失禮術を見る場面はか活動寫の初めに在りし魔術映畫を想起したが、能であつたなら潔處なく笑つて貰ひたい。うして教へて貰ひたいものである。

山本縁葉
(拾壹月拾二日)
大阪芦邊劇場封切

興行價值——意味なしの映畫である。だが觀客は意味もなく笑ふ、二巻の喜劇代りになすべし。
(拾壹月拾二日)
大阪芦邊劇場封切